



cope商品を使って作ったメニューが好評でした

「ご説明下さった方が、ご自分の事をいろいろお話ししてくださいましたので、とても楽しく、そうそうとうなづくことが多かったです」… 1月23日、「和徳東こ～ぶ委員会」(弘前市)が主催した2月のつどいが和徳店の2階で行われました。しおりを使った学習の後は、使用したCO・OPの商品の説明をしながら、委員さんが参加者の前で作ったメニュー(①面の「カンタンレシピ」に掲載しています)の試食などが行われました。



五所川原で干し餅としとぎ餅づくり体験

「干し餅に興味があつて参加しました。いろいろなおもちを作つて楽しかったです」「干し餅をひもでつなげるところが難しかったけど、面白かった」— 五所川原地域リーダー会が主催した「餅と干し餅作り」と題する催しが1月30日、市内の公民館で行われました。参加者46名と予定を大幅に上回ったため、急きよ会場を変更したということで、干し餅作りと、しとぎ餅作り、2つの班に分かれての体験が行われました。



和徳店でcope試食カフェ

1月8日、和徳店のイートインコーナーで「cope試食カフェ」と題する催しが行われました。「和徳店舗こ～ぶ委員会」が、来店者にcope商品やその時々のおすすめ商品を試食して知つてもらい、レシピの配布などを通じて和徳店の利用につなげたいと取り組みを始めたもので、月1回の開催予定。第1回目となるこの日は、コーヒーとお菓子の無料サービスと合わせ、「お家で簡単！生ハンバーグ」の試食品を用意してのおすすめが行われました。



五所川原で組合員と職員の交流会

余興も楽しく、被災地での活動報告もとてもためになりました。職員の皆さんも話が上手で、とても楽しかったです」— 2月8日(土)、五所川原地域恒例の「組合員と職員の交流会」が市内の公民館で行われました(あわせて66名が参加)。はじめに、アイスブレイクゲームで緊張を解きほぐし、集合写真の撮影の後はセンター職員の自己紹介。その後、「災害への備え」をテーマとしたグループ討議が行われました。昼食後は、センター職員によるゲーム(余興)などで会場が大いに盛り上がり、参加者どうし交流を深めあいました。

青森で委員とセンター職員の交流会

青森地域リーダー会が主催した「委員とセンター職員の交流会」が2月1日(土)、copeあおもり本部で行われ、参加した32名が、グループ討議やゲームなどを通じ、楽しく交流を深めあいました。



開会あいさつに続き、参加したセンター職員一人ひとりからの自己紹介。午前の部は、「委員さんを増やすために」をテーマに5つのグループに分かれての討議と発表が行われ。昼食後は漢字クイズやbingoゲームなどで楽しく交流を深めました。参加者からは、「職員さんとの交流はやはり大事だと思います。ゲームを交えてやると楽しいですね」「グループ分けの話し合い、とても楽しかったです」「組合員さんの声が聞けてとても勉強になりました」「生の声を聞いて、協力していくねばと、より思いました」… という感想が出されていました。



黒石店でマッコ市

藩政時代から続く地域のイベント、「マッコ市」が2月2日(日)、黒石市内で行われ、copeあおもり「黒石店」でもお目当てのマッコを手に入れようと、午前7時の開店を待つ来店者が長蛇の列をつくりました。地域の組合員の応援を得て、何日も前から準備をしてきたという「福袋」1000個が店内に並び、来場者が次々と買い求めていました。



指導員を講師に健康体操

「健康体操(ロコモにならないための筋トレ体操)がとても良かった。1時間あつという間でした」— 2月3日、copeあおもり本部で行われた沖館こ～ぶ委員会(青森市)の2月のつどいでは、健康体操指導員を講師に冬場の運動不足解消に向けて体を動かし、その後、こ～ぶの委員さんがCO・OP商品などを使って作った炊き込みご飯や山形風いも煮の試食が行われました。



下北で平和のつどい

「こういう平和活動もあるのだと改めて思いました」— 下北地域リーダー会が、「いま一度平和について考えてみませんか?」と呼びかけた「平和のつどい」が2月10日、copeあおもりむつセンター(むつ市)で行われました。戦争の悲惨さを描いた絵本の朗読や紙芝居、沖縄戦跡・基地めぐりの参加報告などを通し、参加者は、平和の大切さについて、改めて確認していました。